



夢に向かって

い き すいし やくしん
為己 遂志 躍清

R 5 . 12 . 22

NO. 17

文責：学校長

・・・冬休み・親子で目標を確認しあう場をつくりましょう。・・・ 18 日間をどう過ごすかが「大きなカギ」となる。

19日から始まった三者面談へのご協力をありがとうございました。お子さんの 2 学期の頑張りや成長点、そして、今後の課題などについて担任と確認することができたのではないかと思います。明日から 18 日間の冬休みが始まります。有意義な 18 日間にするために親子で目標と具体的な行動について、ぜひとも話し合いの場をもってほしいと思います。

さて、2 学期を振り返ってみると、1 年生は、陸前高田市において被災地学習を実施しました。みんなで協力をして事前学習に取り組み、実際の体験を通して被災地の方々の頑張りや苦労など人としての生きざまについて考える機会になりました。1 学年集団としても毎日の学習取り組みや日々の係活動等、個人としても集団としても着実に力をつけてきたと思います。

2 年生は、自分たちが新たな藤沢中のリーダーであることを自覚し、学習、部活動、生徒会など積極的に活動をしてきました。小中交流会では、新生徒会を中心に来年 4 月に入学する 6 年生に、藤沢中の魅力について自分たちで考え、工夫し、先輩らしい堂々とした態度と言葉で伝えることができました。中学校に入学して 1 年半が経ち、少しずつ大人らしさが見え始めていると思っています。

3 年生はリーダーとしてのバトンを完全に後輩に託しました。文化祭では、文化祭スローガン「～彩煌(さいこう)輝け我らの軌跡～」をメインテーマに作品、研究発表、弁論、英語暗唱、研究発表、そして学級合唱など藤沢中の文化を見事に発表しました。いよいよ進路実現に向けてしっかりとした生活を基盤とした学習への取り組みが一層必要になってきます。

どの学年もこの 18 日間の取り組みが 3 学期のスタート、そして新しいステージとして迎える 2024 年度につながるものになると思います。

JOC 全国バレーボール大会 岩手県選抜チーム 目指せ、日本一！
頑張れ 岩手県代表メンバー 3 年 阿部太久摩 君！

12 月 26 日から大阪市で行われる JOC ジュニア五輪カップの岩手県代表メンバーに 3 年生の阿部太久摩君が選抜され、全国の舞台でプレーをします。今年の選抜チームは 180 cm 以上の選手がそろい、高さがあり活躍を期待されています。太久摩君のジャンプ力を活かし、チームに貢献し、過去最高のベスト 4 を上回る日本一を目指してほしいと思います。初めての全国の舞台で思い切りプレーを楽しんでください。



令和5年度 アンサンブルコンテスト 岩手県大会予選一関支部大会 出場

12月16日(土)に、一関文化センターにおいて全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会予選一関支部大会が行われました。本校からは、吹奏楽部の7名が管打7重奏を編成して参加しました。この予選大会は県に出場する枠がかなり厳しい狭き門です。その中で生徒たちは、これまでの練習の成果を出して演奏し、銅賞を受賞しましたが、惜しくも県大会の出場権を得ることができませんでした。

しかし、多くの観客の前で演奏することは、誰にでも経験できることではなく、良い経験になったことと思います。好きな音楽をこれからも続けて、楽しみ、またいつの日かチャレンジしてほしいと思います。吹奏楽部の皆さん大変ご苦労様でした。



祝 ソフトテニス部 岩手県中学校インドアソフトテニス大会

男子団体優勝・個人戦優勝！

10月の岩手県新人ソフトテニス競技の部で優勝した男子団体、男子個人戦、そして出場権を得た女子団体が12月9、10日に奥州市で行われた岩手県中学校インドアソフトテニス大会に出場しました。

結果は、男子団体戦が優勝、男子個人戦千葉史和、橋本 駟丸ペアも見事に優勝し、来年1月に山形県で行われる東北ソフトテニスインドア大会に出場することとなりました。さらにこれまでより格が上がる東北の強豪チームとの対戦を経験することになります。臆することなく自分たちのテニスを貫き、勝利を勝ち取ってきてほしいと思います。次年度の中総体に向けての前哨戦となります。頑張れ藤沢中学校ソフトテニス部！！

男子ソフトテニス部 主将 千葉史和 君
僕たち男子ソフトテニス部の目標はベスト4と決めました。今までの練習では、個々の能力の向上、試合を意識した展開練習などに取り組んできました。また部全体で定めた「周りから認められ、応援されるチーム」を目標に、学校生活でも課題や生活態度を当たり前以上にできるように取り組んでいます。本番では、自分たちが行ってきたことの積み重ねが大きく出ると思います。本当に今の取り組み方でのいか、自分たちは東北大会でも通用する力があるのかしっかりと確かめる機会でもあると思います。周りへの感謝はもちろん自分たちはプレーでそれを表していきたいと思います。

「善友は助け合って成長し、悪友は誘い合って墮落する」の続き・・・。

たとえば、一生懸命歌っている合唱にたった一人ふざけて変な声を出すだけでそのみんなで創り上げようとする合唱は見事に壊れます。一生けん命みんなで取り組んでいる目標をたった一人が破れば、見事に目標は壊れます。物をつくりあげること、なし遂げることには人の工夫と努力、苦勞の結晶そのものです。高みを目指すには、坂を上るように努力が必要です。坂を下るには何の努力もいらない。極端に言えば、黙っていれば、何の苦勞もなく下へ転がっていく。落ちていくのです。生きていればどんな人でも良くなりたいたいと思っただけです。しかしその逆をするのも人間です。それは努力することは苦痛だからです。そしてすぐあきらめてしまう。その集団の中でみんなが頑張ろうと思っただけでもわずかながらやる気のないものがあるとそれが伝播する。でもそれはみんなで足を引っ張りあって下へ落ちていく、その時だけ楽しい滑り台のようなものです。今だけ、自分だけのことを考えるのではなく、もっと先、自分の未来を見据えて考えて行動すること、大人の考えを持って行動する時期が中学生の時期なのです。どちらかを選ぶかは自分次第ですが、自由だけれどもみんなが大人になる中で自分が子どものままでは、やがてみんなが離れていき、一人だけ子どものままおいていかれることになるのでしょう。人は誰でもよくなりたいたいと思っています。このままでよいとは思っていません。過去は自分では変えられないが、将来は今の自分が創るのです。